

証券コード：6306

日工株式会社

第159期中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日



株主のみなさまへ

日工ブランドをより高める活動を推進し、 「真にお客様から信頼されるメーカー」を 目指します。

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第159期中間期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の事業及び業績の概況等についてご報告申し上げます。

2021年12月 取締役社長 辻 勝



今年は、2019年5月に発表した中期3ヶ年経営計画「nからはじまる未来創造」の最終年であるとともに、2030年に日工グループがやりたい姿（ビジョン）を見据えた次期中期経営計画の策定を進めているところです。

中期経営計画3年目の進捗状況としまして、売上高は積極的な事業活動により当初設定した計画を上回る見通しですが、営業利益につきましては、原材料費の高騰、カーボンニュートラルの実現に向けた脱炭素分野への研究開発投資、及びアスファルトプラント関連事業において利益が目標ラインを下回っていることから、弱含みでの推移となっております。

海外事業においては、製造現地法人のある中国では、コロナ禍前を越える商況を取り戻しております。タイではコロナによる活動制限の影響があったものの、多くの商談を獲得しアスファルトプラントの設置実績も得られ堅調に推移しております。また、2020年5月に設立したタイ製造現地法人「NIKKO NILKHOSOL CO., LTD.」の工場建設は、天候等による工事遅延がありましたが、年内の完成を予定しております。2022年よりタイでのアスファルトプラントの本格的な生産をスタートさせ、今後、タイを中心に、ASEAN各国へのプラント・パーツの販売、メンテナンスサービスの提供など様々なバリューチェーンを展開してまいります。

さらに、日工グループでは、サステナビリティへの取り組みに注力しています。カーボンニュートラルの実現に向けて、研究開発投資を増額し、循環型社会の構築に必要な建設材料のリサイクル、道路舗装材であるアスファルト合材の製造におけるCO2削減、各種リサイクル装置の拡充など、保有技術の更なる展開や、国土強靱化に向けた防災関連商品の充実に注力してまいります。

また、当社の強みである、4つのコア技術「加熱」「混練」「搬送」「制御」を活用し、主要事業に更なる磨きをかけるとともに、コア技術の積極的展開に挑み、新たな事業領域の拡大に注力してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

当第2四半期累計期間の概況 (2021年4月1日から2021年9月30日まで)

事業の経過及びその成果

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の解除、発令が繰り返され、感染拡大・収束の一進一退の不透明な状況が続いています。また一方で、ワクチン接種の進展を背景とした正常化後に向けて動き出した世界経済は供給制約による資源価格、材料価格の上昇、物流の逼迫、人手不足等の次なる課題に対峙することも余儀なくされる状況にあります。

そのような状況下、当社グループは比較的新型新型コロナウイルス感染症拡大の影響を直接受けることは少なく、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は190億8百万円(前年同四半期比4.3%増)となりました。

損益面では脱炭素化に向けた研究開発費の増加、鋼材をはじめとした原材料費の増加や人件費等の増加があり、連結営業利益9億68百万円(前年同四半期比3.1%減)となりました。連結経常利益は、前期、大口の特別配当金の計上があり11億5百万円(前年同四半期比30.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益8億67百万円(前年同四半期比21.0%減)となりました。

なお、部門別の概況は以下のとおりであります。

アスファルトプラント関連事業

国内の製品及びメンテナンス事業ともに前年同四半期比減少しました。海外の売上高は、前期比増加しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比3.5%減の91億89百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における受注高は前年同四半期比減少、受注残高は前年同四半期比増加しました。

コンクリートプラント関連事業

国内の製品及びメンテナンス事業ともに前年同四半期比増加しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比13.6%増の55億89百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比増加しました。

環境及び搬送関連事業

環境製品、搬送製品ともに売上高は前年同四半期比増加しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比49.3%増の15億81百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比減少しました。

その他事業

土農工具、モバイル事業の売上高が前年同四半期比増加しました。仮設機材の売上高は前年同四半期比減少しました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比2.7%減の26億47百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比減少しました。

通期業績の見通し

通期の連結業績見通しにつきましては、2021年5月14日に公表いたしました業績予想どおり、連結売上高390億円、連結営業利益23億円、連結経常利益25億円、親会社株主に帰属する当期純利益17億円の予定でございます。

現中期経営計画中の配当について

当社の配当方針につきましては、6Pに記載のとおりでございますが、現中期経営計画期間中(2019年度～2021年度)につきましては、配当性向60%以上とします。

なお、今年度の配当予定額は年間30円(中間配15円、期末配15円)を予定しており、予想配当性向は67.5%となります。

株主さまアンケート結果のご報告

第158期株主報告書及び決議通知のご送付の際にお願いいたしましたアンケートの集計結果を当社HPに掲載しております。

ご多忙の中、貴重なご意見を多数いただき、厚く御礼申し上げます。

いただきましたご意見・ご要望は、今後のIR活動の参考とさせていただきます。

第2四半期連結業績ハイライト (各年度4月1日～9月30日)

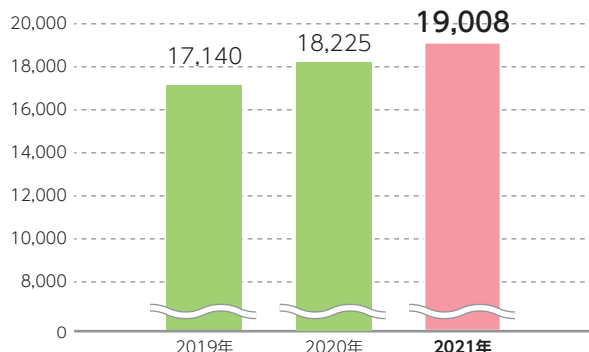
売上高

(単位:百万円)

4.3%増
(前年同期比
+783 百万円)



国内でのコンクリートプラント関連事業が堅調に推移し、環境及び搬送製品も前年同四半期比にて大幅に増加したことにより、売上が増加しました。



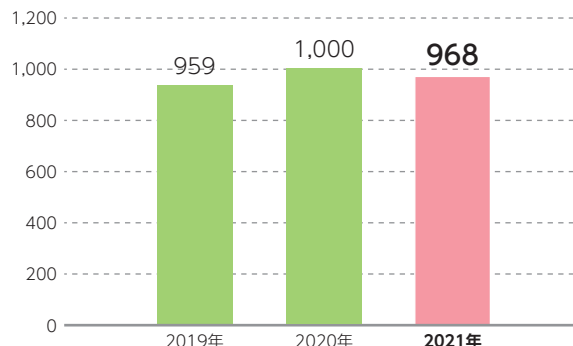
営業利益

(単位:百万円)

3.1%減
(前年同期比
-31 百万円)



鋼材をはじめとした原材料費の増加や人件費の増加があり、減益となりました。



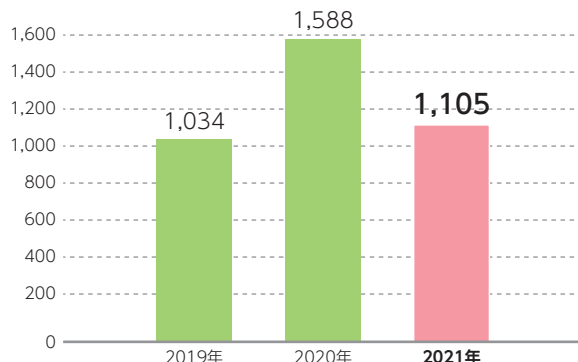
経常利益

(単位:百万円)

30.4%減
(前年同期比
-483 百万円)



前期は大口の特別配当金の計上がありましたが、当期は為替差益が為替差損へ転じたこと等により、減益となりました。



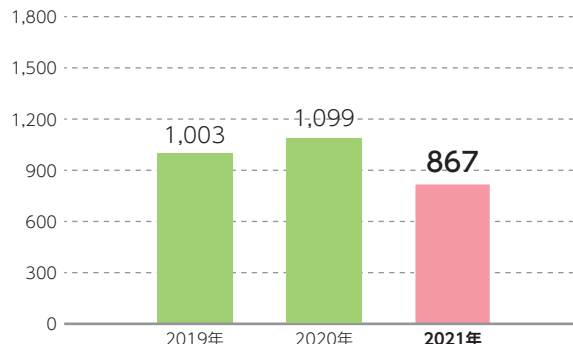
親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位:百万円)

21.0%減
(前年同期比
-231 百万円)



経常利益の減益により、税引前及び税引後利益ともに減益となりました。



企業概要

(2021年9月30日現在)

会社概要

商号	日工株式会社 (NIKKO CO.,LTD.)
本店所在地	〒674-8585 兵庫県明石市 大久保町江井島1013番地の1
設立	1919年(大正8年)8月
資本金	91億97百万円
従業員数	565名(グループ合計887名)
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人

役員

取締役会長	西川 貴久
代表取締役社長	辻 勝
専務取締役	藤井 博
取締役	中山 知巳
取締役	田中 実
社外取締役	永原 憲章
社外取締役	湯浅 勉
社外取締役	石井 正文
社外取締役	佐伯 里香
常任監査役(常勤)	保田 信高
社外監査役	貞苅 茂
社外監査役	大田 直樹
社外監査役	福井 剛

主要な営業所及び工場

営業所

本社(明石)	事業本部(千代田区)
大阪支店(大阪)	北海道支店(札幌)
東北支店(仙台)	関東支店(さいたま)
中部支店(名古屋)	中・四国支店(広島)
九州支店(大野城)	沖縄支店(島尻郡)
新潟営業所(新潟)	横浜営業所(横浜)
四国営業所(高松)	南九州営業所(鹿児島)
東京サービスセンター(野田)	
明石サービスセンター(明石)	
盛岡サービスステーション(盛岡)	
湾岸サービスステーション(市川)	
北陸サービスステーション(金沢)	
明石サービスステーション(明石)	
岡山サービスステーション(倉敷)	
東京モバイルセンター(吉川)	

工場

本社工場(明石)、幸手工場(幸手)、
加古川工場(加古川)、福崎工場(神崎郡)

海外

台北支店

連結子会社

日工電子工業株式会社	
日エマシナリー株式会社	
トンボ工業株式会社	日エセック株式会社
日工興産株式会社	株式会社前川工業所
日工(上海)工程機械有限公司	
NIKKO BAUMASCHINEN GMBH	
NIKKO ASIA(THAILND)CO.,LTD.	
NIKKO NILKHOSOL CO.,LTD.	

株式の状況

発行済株式の総数 40,000,000株

当中間期末株主数 10,902名

大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日工取引先持株会	5,693	14.9
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	3,998	10.5
日工社員持株会	1,787	4.7
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,269	3.3
株式会社三井住友銀行	1,203	3.1
日本生命保険相互会社	854	2.2
住友生命保険相互会社	745	1.9
株式会社百十四銀行	683	1.8
明治安田生命保険相互会社	648	1.7
日本ヒューム株式会社	490	1.3
合計	17,372	45.4

当社は、自己株式を1,771,460株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。持株比率は自己株式を除いた発行済株式総数で除して算出し、小数第2位を四捨五入して表示しております。

当社ホームページにて、四半期ごとに決算資料を開示しております。詳細な資料となっておりますので、株主のみなさまもぜひご覧ください。



資料の場所はトップページの「ニュースリリース」に掲示しております。



配当方針

当社は、株主のみなさまへの利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付け、基本的にその期間の業績に応じて配当をすべきものと考えております。そのため、株主のみなさまのご期待に添うべく、経営基盤の強化並びに企業価値の増大に努めつつも、内部留保の充実、配当の安定継続性等をも総合的に勘案して配当額を決定することを基本方針としております。

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、次のとおり異なりますので、該当の窓口にお問合せください。

1. 証券会社の口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先	
●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話：0120-094-777 (平日9:00～17:00)
●単元未満株式の買取・買増請求 ●届出住所・姓名などのご変更 ●配当金の受領方法・振込先のご変更	口座を開設されている証券会社にお問合せください。	

2. 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先	
●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話：0120-094-777 (平日9:00～17:00)
●特別口座から証券口座への振替請求 ●単元未満株式の買取・買増請求 ●届出住所・姓名などのご変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法・振込先のご変更	特別口座の 口座管理 機関	手続用紙のご請求方法 インターネットからのダウンロード https://www.tr.mufig.jp/daikou/

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月(基準日3月31日)
期末配当金支払 株主確定日	3月31日
中間配当金支払 株主確定日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
公告の方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。 [掲載インターネットアドレス] http://www.nikko-net.co.jp/denshikoukoku/
上場金融商品 取引所	東京証券取引所

ご案内

単元未満株式(1～99株)については、株式市場で売買することができませんが、当社では単元未満株式の買取・買増請求制度を実施しております。

(1)買取請求制度

株主さまがご所有の単元未満株式を市場価格で買取よう当社に請求できる制度

(2)買増請求制度

株主さまがご所有の単元未満株式と合わせて1単元(100株)となるように、市場価格にて単元未満株式の買い増しを当社に請求できる制度

お手続きの詳細い内容につきましては、株主さまの口座のある証券会社にお問い合わせください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。



〒674-8585

兵庫県明石市大久保町江井島1013番地の1 電話(078)947-3131

